

遊学舎武雄こども園 園だより

令和4(2022)年 7月号



「169のころ」

お友だちと一緒に過ごす楽しさや想いのぶつかり合いなど、様々なことを経験しながら関わり方を学び、絆を深めている3歳児さん。3, 4歳ごろは、だんだんと自分のしていることが客観的に分かってくる年齢でもあります。この時期、保育者は個々の気持ちに寄り添い、気持ちの仲立ちをしていくことが大切と考えています。しかし自分たち自身で心を通わせ、素敵な成長をしていると感じさせる出来事があったのです。

ある日、絵本コーナー近くで何人かの友だちと遊んでいた男の子が急に泣き出しました。別のお友だちが同じ絵本を読みたいな、と思ったのでしょう。泣いている男の子が読みたかった絵本を持って行ったようでした。少し様子を見てみると、ある女の子が絵本を持ってその子のもとへ。絵本を渡すと、男の子の涙はピタッと止まりました。更にすぐあとに絵本を持って行った子が「ごめんね」と謝りに来たのです。「いいよ」と2人は仲直りをする事ができました。女の子の静かな優しさで、先に持って行ってしまっただごめんね、と言えた姿に成長を感じ心が温かくなった瞬間でした。

これからも、私たちは3歳児さんの優しい心を間近で感じながら自分らしく成長する姿を側でそっと見守っていきたいと思います。



色アンケートへのご回答ありがとうございます。
玄関にメッセージアートを作成し、選んでいただいたそれぞれの色におひとりずつ、お子さまと保護者様のお名前をいれさせていただきました。ぜひ、お名前をさがしてみてください。武雄こども園が、子どもたち・保護者様・職員みんなにとって、大切な居場所であり続けられますように。





☆ 握った石を差し出し「すなあそび楽しいよ」とひそ言っているように見えたKくんの様子。小さいふたばくさんのじいにも、思いせりの芽は確実に存在しているんですね。

武雄こども園では「あなたはあなたのままでいい」という言葉を軸に教育・保育に従事しています。私は大人と呼ばれる年齢になって何十年かが過ぎようとしていますが、「あなたのままでいい」と誰かに言われたことがあったのか、振り返ることがあります。

時代柄か、残念ながら言葉に出して言われたことはありません。しかし、それに代わる存在が私の幼少期にはありました。それは、私が何をしても叱らない、いつ会っても溶けるような優しい笑顔と、ゆっくりとした優しい声で私の名を呼び、親戚で集まって座るときはいつも自分の隣を私の指定席にしてくれた、祖父。嬉しいとき、悲しいとき、行き詰ったとき。私の状態に関係なく、いつでも丸ごと受け入れてくれました。

「絆」には愛着形成のための3つの基地があるそうです。安全基地、安心基地、探索基地。安全基地とは、ネガティブな感情から守る居場所。安心基地とは、ポジティブな感情を生じさせる居場所。探索基地とは、基地から離れて様々な体験をする居場所。ただし、探索基地にいても必ず先2つの基地にいつでも戻ることができることが大切だそうです。

今、私は探索基地にいます。しかし幼少期に授かった私の祖父という安全基地と安心基地が、優しい温度を帯びたまま、不思議な感覚ですが今も私のなかにあります。自分を丸ごと受け入れてくれた人の温度が、変わらずずっと心の中にある。あの指定席が私にくれた力。

もしも私たち武雄こども園が、園に関わる全員にとって、この3つの温かな基地になれば。そう思いながら、今日も子どもたちと保護者様をお迎えます。



「絶えずあなたを何者かに変えようとする世界のなかで、自分らしくあり続けること。それが最も素晴らしい偉業である。」 エマーソン